

# YP-211

NATURAL SOUND SYSTEM MODEL YP-211  
GUIDE MANUAL

ヤマハ ステレオレコードプレーヤーシステム  
取扱説明書



## ●ご挨拶

このたびはヤマハステレオレコードプレーヤー YP-211 をお買上げいただきまして、まことにありがとうございます。ありがとうございました。

YP-211 は、精巧なメカニズムによるオートリターン、オートカット機構を採用、防振設計も万全な使いやすい高性能ベルトドライブプレーヤーです。

YP-211 を長年にわたってお使いいただくため、この取扱説明書をご使用前に是非お読みくださいますようお願いいたします。

## ●特長

- オートリターン、オートカット機構を採用し、プレーヤー操作がより簡単で使い易い設計となっています。
- トレース能力のすぐれたS字型トーンアームの採用、キューイング機構の採用、さらに音質重視のカートリッジCG-4500 IIを用い、音質、操作共にすぐれた設計です。
- 定評あるヤマハの木工技術と新感覚のデザインを盛りこんだ美しい仕上げのプレーヤーです。

## ●目次

特長・規格・付属品	2
プレーヤー各部の名称	3
ご使用になる前に	3
プレーヤーの組立てと調整	4
オーディオアンプへの接続とレコード演奏のしかた	6
他のカートリッジを使用するときは (針先の交換と電源周波数の変更)	8
故障と思われるときには	9
サービスのご依頼について	9

## 規格・付属品

### ●規格

#### ■ターンテーブル

モーター	4極シンクロモーター
ターンテーブル	30cmアルミダイキャスト
回転数	33 $\frac{1}{3}$ 45rpm 2スピード
駆動方式	ベルトドライブ
SN比	52dB以上
ワウフラッター	0.08%以下(W, R, M, S)

#### ■トーンアーム

型式	S字型・スタティックバランス型
実効長	215mm
オーバーハング	15mm
カートリッジ自重範囲	5~11g
ヘッドシェル	EIA規格プラグイン型

#### ■カートリッジ

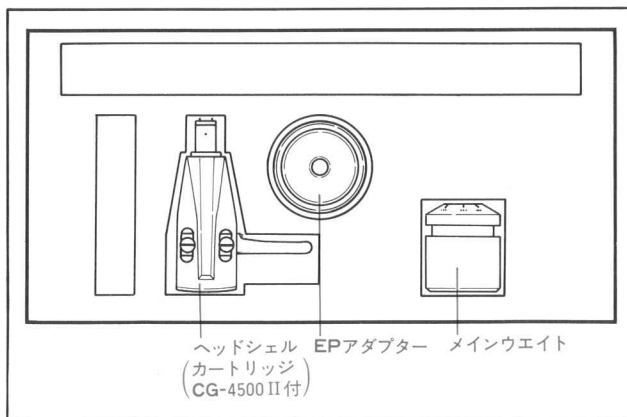
型式	MM型CG-4500 II
針先	ダイヤモンド0.5mil (交換可)
交換針	N-4500 II
適正針圧	2.0g
最適負荷抵抗	47K $\Omega$

#### ■その他

電源電圧	AC100V (50Hz・60Hz)
消費電力	8W (60Hz) 9W (50Hz)
寸法(W×D×H)	435×361×150
重量	6kg
付属品	EPアダプター

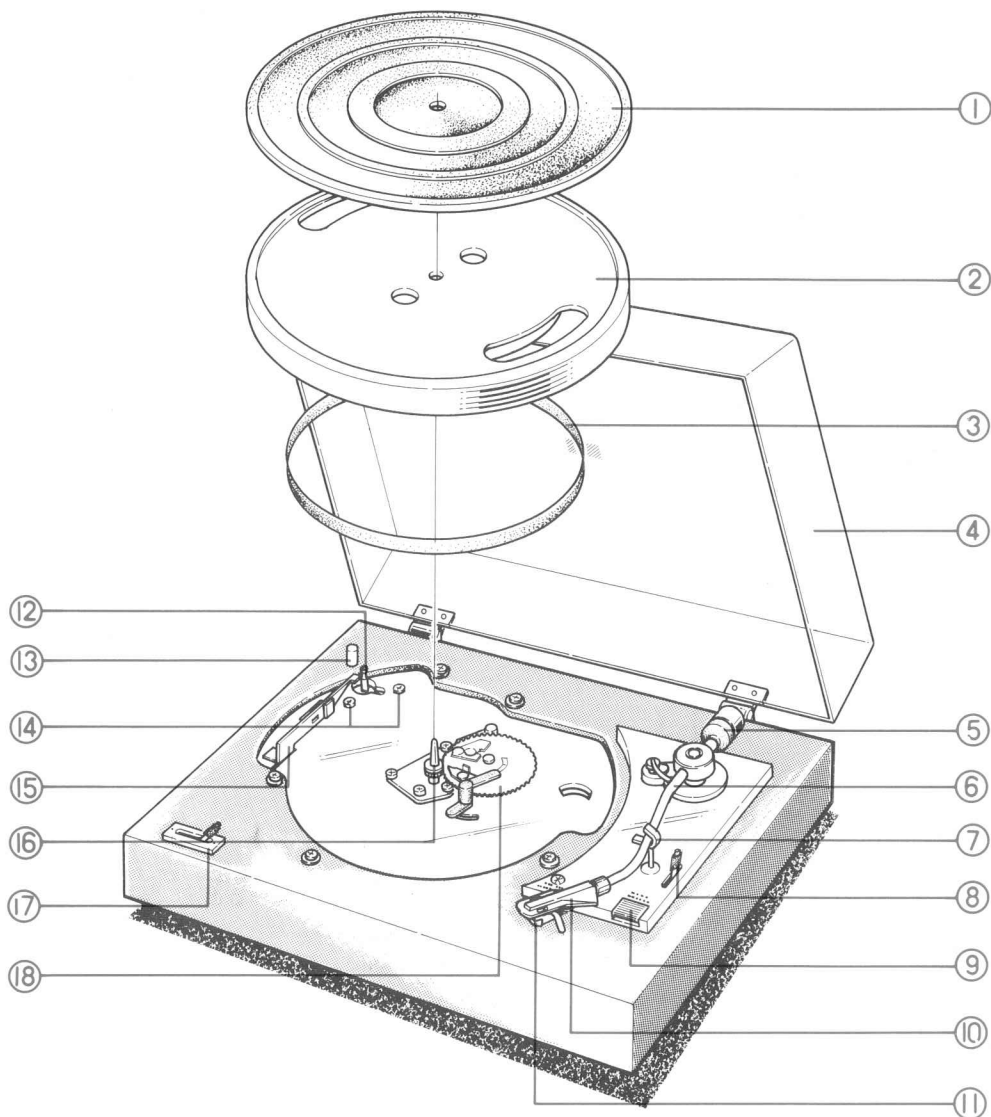
●上記の規格及び外観は改良のため予告なく変更されることがございます。

### ●付属品



## プレーヤー各部の名称

- ① ゴムシート
- ② ターンテーブル
- ③ 駆動用ベルト
- ④ 上蓋
- ⑤ メインウェイト
- ⑥ トーンアーム
- ⑦ アームレスト
- ⑧ キューイングレバー
- ⑨ PLAY & REJECT スイッチ
- ⑩ ヘッドシェル
- ⑪ カートリッジ
- ⑫ モータープーリー
- ⑬ EPアダプターホルダー
- ⑭ 輸送用固定ネジ
- ⑮ ベルト切換ガイド
- ⑯ センターシャフト
- ⑰ スピード切換レバー
- ⑱ オートリターン機構



## ご使用になる前に

■ プレーヤーの設置場所には、水平で振動の少ない場所を選び、直射日光の当たる場所や湿気の多い場所、ホコリの多い場所は避けてください。

■ 針先のゴミには常にご注意ください。針先についたホコリは音質を悪化させます。

■ 木製キャビネットや上蓋をシンナー系の液体で拭いたり、シンナー系の殺虫剤等をプレーヤーの近くで散布したり

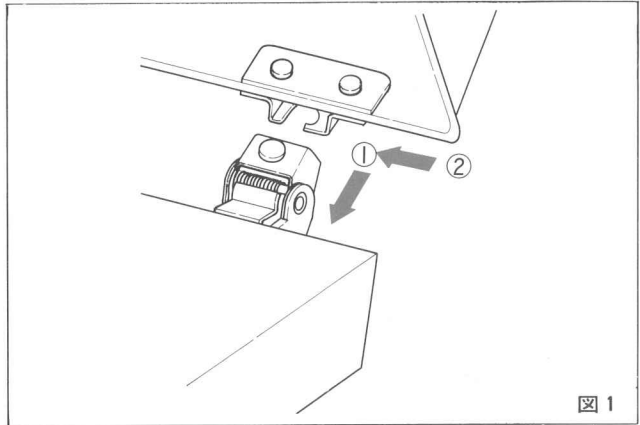
することは避けてください。掃除する場合は、柔かい布で乾拭きするようにしてください。

■ お買上げいただきました際購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証期間中にもかかわらず保証書に販売店印がありませんと、万一サービスの必要がある場合に実費をいただくこととなりますので、ご了承の上充分ご注意くださいようお願いいたします。

## プレーヤーの組立てと調整

### ● アクリルカバーの取付けと取外し

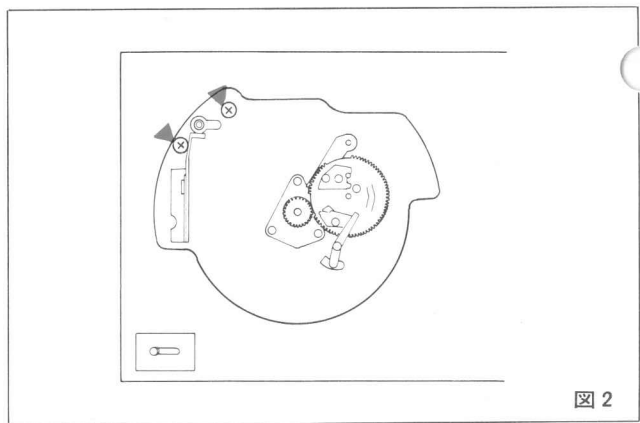
アクリルカバーは脱着可能になっていますのでご希望により取外してご使用になることができます。出荷時にアクリルカバーは本体より取外されて梱包されていますので図1のように突起と溝を合わせて矢印方向に押しながら取付けてください。又取外するときは取付けるときの逆の操作をすれば簡単に取外しができます。



### ● 輸送用固定ネジの取外し

輸送中の振動や事故等からモーター部を保護するために本機の2ヶ所を輸送用固定ネジで固定してあります。(図2)これらのネジはご使用になる前に必ず取外すと同時に、再輸送するときに必要ですのでたいせつに保存しておいてください。

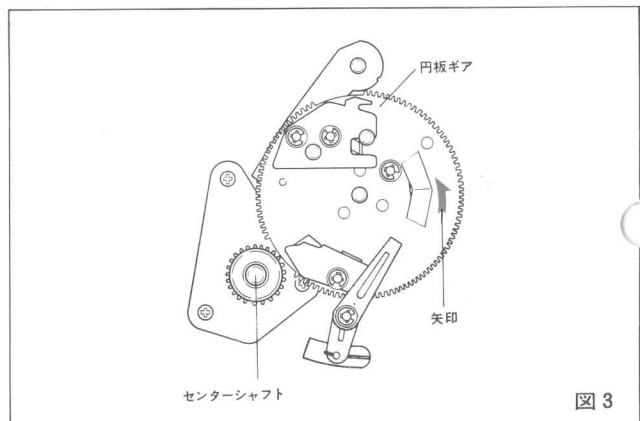
(注) 輸送用固定ネジを取外さずにご使用になると、ターンテーブルに当り、回転不良を起こす場合があります。



### ● ターンテーブルをはめる前に

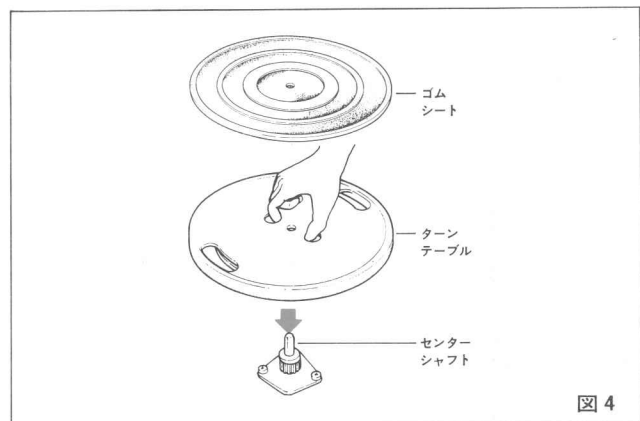
輸送用固定ネジ2本を取除いて、ターンテーブルをセンターシャフトにはめる前に、

● オートリターン機構ギヤの矢印とセンターシャフトの位置が図のようになっていることを確認してください。(図3)



### ● ターンテーブルの取付け

ターンテーブル裏側内周に駆動用ベルトがかけられていることを確認の上、ターンテーブルの穴に指を入れ、静かに取付けてください。(図4)尚ターンテーブルを取付けの際には次項「ベルトのかけかた」を参照の上モータープーリーに駆動用ベルトをかけて下さい。



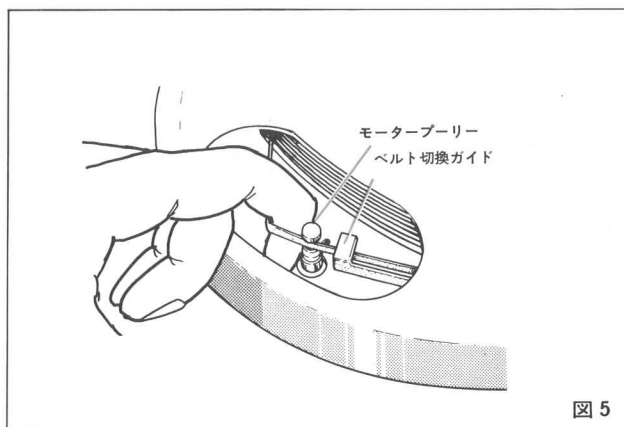
## ● ベルトのかけかた

① プレーヤーパネル左端のスピード切換レバーを`33`の方に切換えてください。

② 図5のようにベルトを伸ばし、ベルト切換ガイドの間を通してモータープーリーにベルトをかけます。

(注) ベルトは、必ずベルト切換ガイドの間を通してかけてください。またベルトがねじれないようにご注意ください。

③ ゴムシートをターンテーブルにのせます。



## ● トーンアームの組立

### ■ メインウェイトの取付

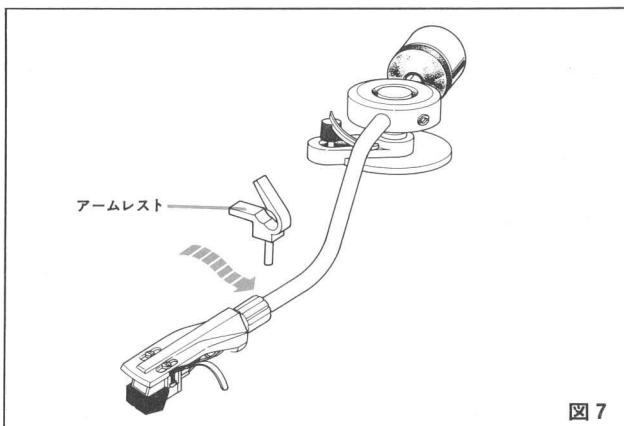
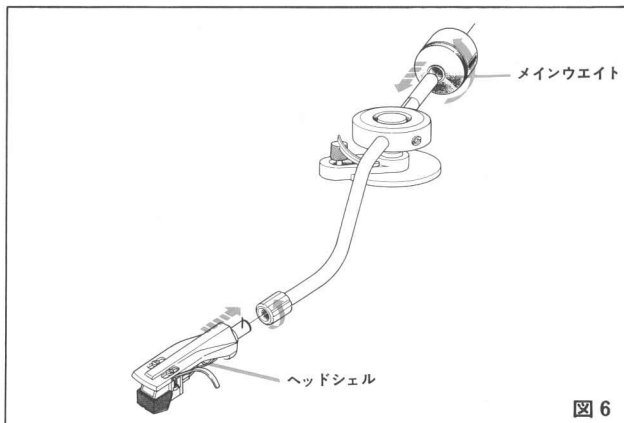
① 梱包されているメインウェイトを図6のようにトーンアーム尾部に矢印の方向に回しながら押し込みます。

② メインウェイト内部に刻まれた螺旋溝とアーム尾部のストッパーがかみ合い、メインウェイトは、アームを正面からみて反時計方向(左)に回すとトーンアーム前方に、時計方向(右)に回すと後方にスムーズに移動するようになります。

### ■ ヘッドシェルの取付け

図6のようにヘッドシェルの尾部をトーンアーム先端のソケットへ、ヘッドシェルのピンとトーンアームソケットのスリットを合わせてさしこみ、トーンアーム先端外側のロックナットを反時計方向に回してしっかり締め、トーンアームに固定してください。

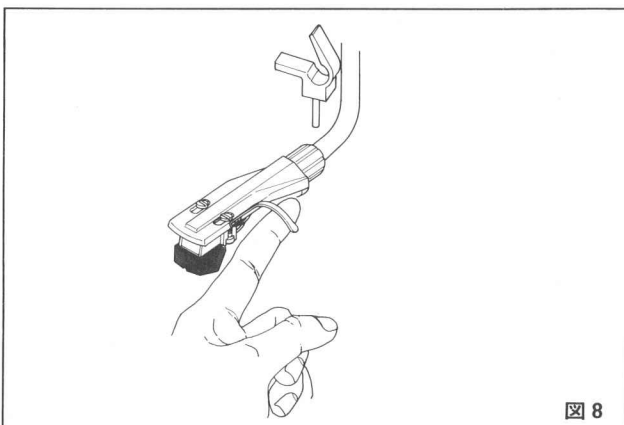
(注) ヘッドシェルの取付けの時は、針先の保護のため針カバーはつけたままにしておいてください。



## ● 針圧調整のしかた

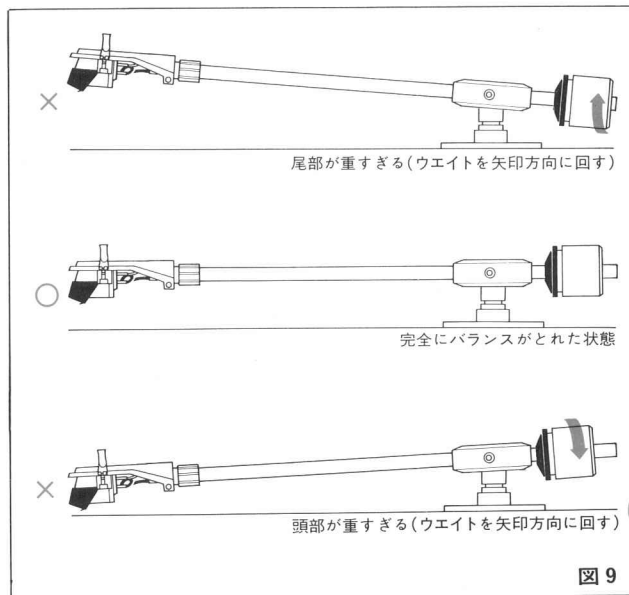
● カートリッジの針カバーを外し、トーンアームをアームレストの右側に持ち上げて移動させます。(図7)

※この時針先がプレーヤーボードに当たらないようシェルを指でささえてください。(図8)



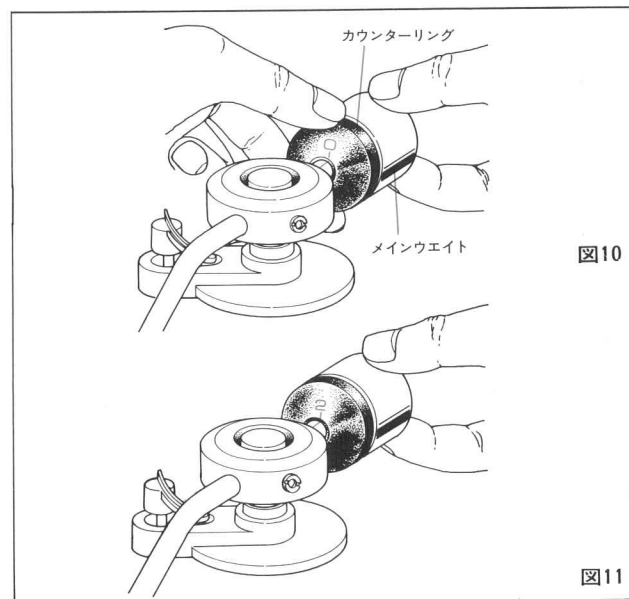
③ トーンアームが基点を中心に水平バランスするように  
 図9を参考にしてメインウェイトを前後させて調整  
 します。この時メインウェイトはゆっくり回し、バラン  
 ス具合をみるときはフィンガーから指を軽くはなして  
 みるようにして慎重に調整してください。

- ④ バランスがとれた後、アームレストに戻します。  
 ⑤ メインウェイトが動かないように、メインウェイト前  
 部のカウンターリングだけを回して数字の0をトーン  
 アーム軸のセンターラインに合わせます。(図10)  
 ⑥ メインウェイト後部を回しますとカウンターリングも  
 一緒に回りますので、メインウェイトを反時計方向に  
 回してカウンターリングの数字2をトーンアーム軸の  
 センターラインに合わせます。(図11)



本機に付属しているカートリッジの適正針圧は2.0gです。

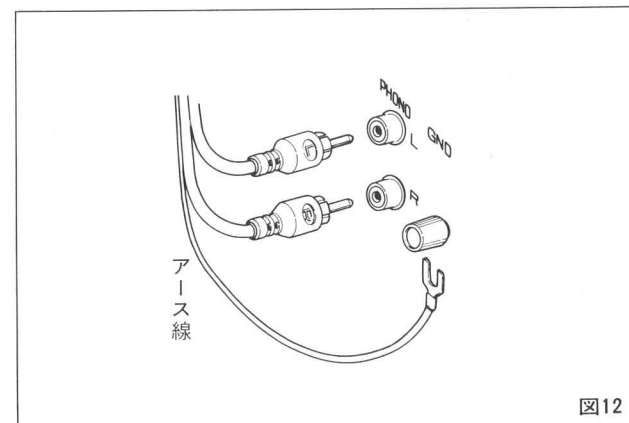
以上の操作で正しい針圧がとれたわけですが、カートリ  
 ッジを交換したり、誤まってメインウェイトを動かした  
 場合は以上の操作を始めからやりなおして針圧をとり直  
 してください。



## オーディオアンプへの接続とレコード演奏のしかた

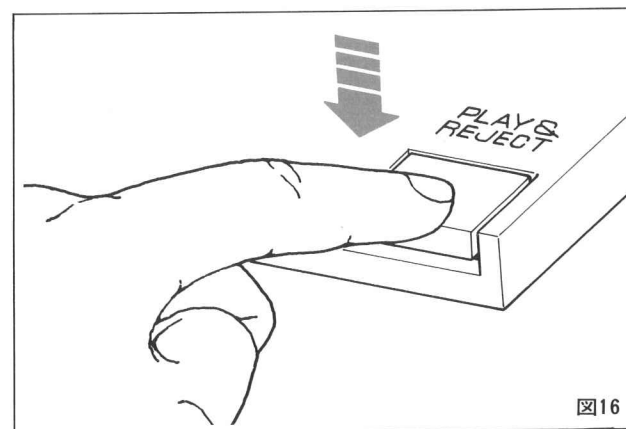
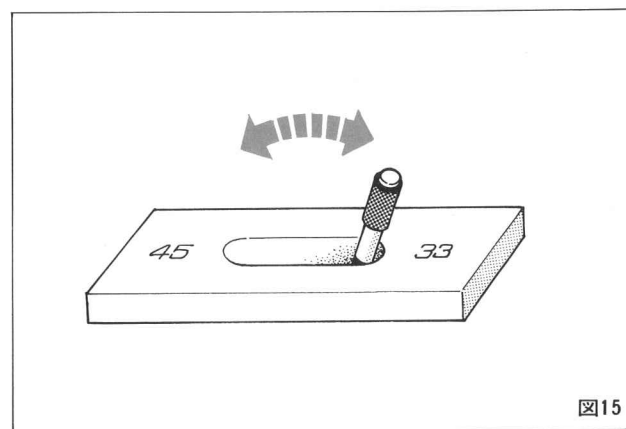
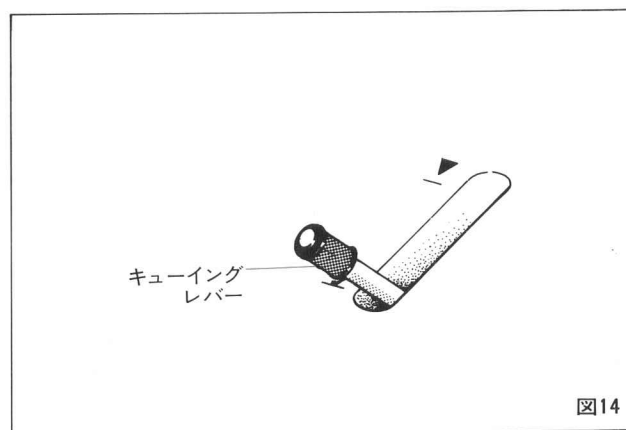
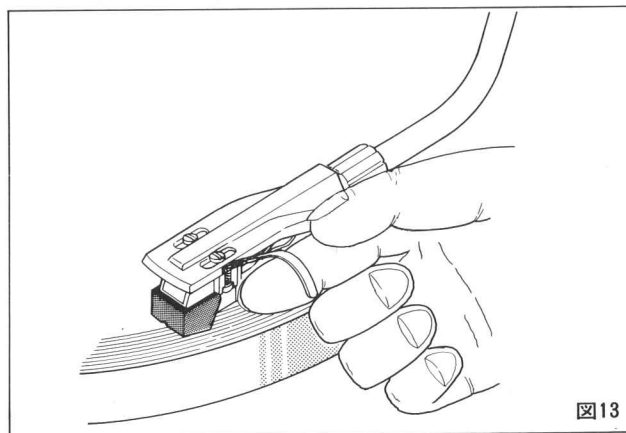
### ●オーディオアンプへの接続

- ① キャビネット背面より出ている出力コードのL、Rを  
 間違えないように、アンプのリアパネル面PHONO端  
 子へ接続します。ピンプラグは白がLチャンネル、赤  
 がRチャンネルです。(図12)
- ② 出力コードより出ているアース線をアンプのGND端  
 子へ接続します。場合によっては接続しない方がハム  
 に対してよい結果を得られることがあります。
- ③ プレーヤー電源プラグをACコンセントに接続します。



## ●レコード演奏のしかた

- ①接続したオーディオアンプのファンクションスイッチまたはインプットセクタースイッチをPHONOの位置にセットします。
- ②演奏するレコードをターンテーブルに乗せます。レコードがドーナツ盤の場合は、付属のEPアダプターを使用してターンテーブルに乗せます。
- ③トーンアームのカートリッジの針先をレコード面上のお聴きになりたい位置にもってゆきます。(図13)この時ターンテーブルが回転し始めます。
- ④キューイングレバーが▼(DOWN)の位置にあることを確認します。(図14)回転数がレコードの回転数に合っているかどうかを確認し、違っている場合はスピード切換レバーを正しい回転数に合わせます。(図15)
- ⑤PLAY & REJECT スイッチを押しますとアームは静かにレコード面上に降りレコード演奏がはじまります。(図16)



レコード演奏が終わりますと、トーンアームは自動的にアームレストに戻り、ターンテーブルも停止します。途中でやめたいときはPLAY & REJECT スイッチを押しますと自動的にトーンアームがアームレストに戻ってターンテーブルの回転が停止します。

### ■キューイング機構の使いかた

トーンアームの右側パネル面にあるキューイングレバーは、レコード演奏を演奏中に一時中断したいときに使う便利な機構です。

- ①レコード演奏中、キューイングレバーを▼(UP)の位置にすると、ターンテーブルは回転したままで、トーンアームがレコード面より離れ、演奏は中断されます。
- ②再びレコード演奏を行ないたいときはキューイングレバーを▼(UP)位置から▼(DOWN)位置にすれば、トーンアームはレコード面に降り演奏は再開されます。キューイングレバーを▼(UP)の位置にしてレコード演奏を中断した後、そのままプレーヤーを止めたいときは、PLAY & REJECT スイッチを押してください。トーンアームはアームレストに戻りターンテーブルも停止しますのでその後でキューイングレバーを▼(DOWN)の位置に戻しておいてください。

(注)キューイングレバーの操作は静かに行なってください。急激な操作はトーンアームがバウンドして針先を傷める原因などにもなりますのでご注意ください。

## 他のカートリッジを使用するときは……

トーンアームのヘッドシェルは交換可能ですので、EIA規格のヘッドシェルなら付属のものと交換して使用することができます。

### ■使用できるカートリッジの重量

他のカートリッジをご使用の場合は重量が5g～11gまでのものが使用できます。

### ■オーバーハングのとり方

トーンアームのオーバーハングは15mmに設計されています。付属のヘッドシェルを使用する場合、**図17**のようにシェル側面のオーバーハング指標の位置と針先が合うようにカートリッジを取付けてください。

### ■ヘッドシェルへの取付

カートリッジをヘッドシェルに取付ける際、ヘッドシェル内のリード線は**図18**のようになっていますのでご使用になるカートリッジの各ピンに正しく接続してください。

## 針先の交換と電源周波数の変更

### ●針先の寿命と交換のしかた

針先はダイヤ針を使用しています。寿命はご使用になるレコードの状態によって異なりますが、200～300時間が平均です。針先が磨耗すると音が歪んだりビリついたりする上レコードを傷める原因にもなりますので、針先は早めに交換してください。交換針はヤマハステレオ特約店に用意されていますので、YP-211用N-4500IIとご指定ください。

### ■針先の交換

- ① トーンアームからヘッドシェルを外します。
- ② 古い針先ホルダーを手前に引いて取外します。(図19)
- ③ 新しい針先を②と逆の方法でしっかりさしこみます。
- ④ ヘッドシェルをトーンアームに取付けます。

### ●異なる電源周波数でご使用になるときは…

お買い求めの後に移転などで異なる電源周波数地域でご使用になる時は、モータープーリーを交換する必要がありますので最寄りのヤマハ特約店か日本楽器各支店オーディオ技術係にご連絡ください。

### ■モータープーリー交換方法

- ① ターンテーブルを外し**図20**のようにモータープーリー側面のネジをゆるめて上に引張り外します。
- ② 新しい交換用モータープーリー(60Hz用には溝が刻んであります)をはめます。
- ③ ベルト切替ガイドを33回転の状態にした時、ベルトがベルト切替ガイドに触れない位置にプーリーを固定します。(図20)

(注)手のよごれや油がプーリーに付着しないようにご注意ください。

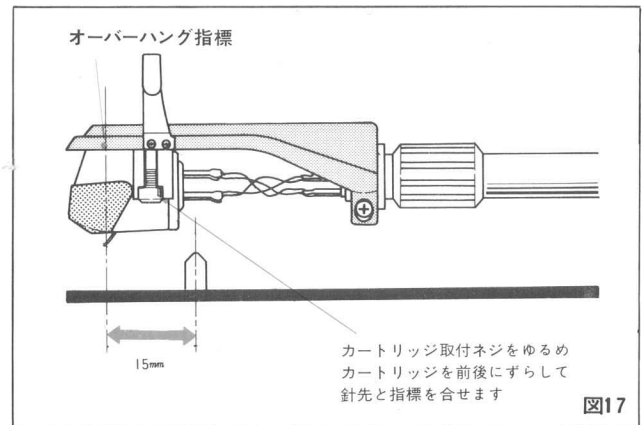


図17

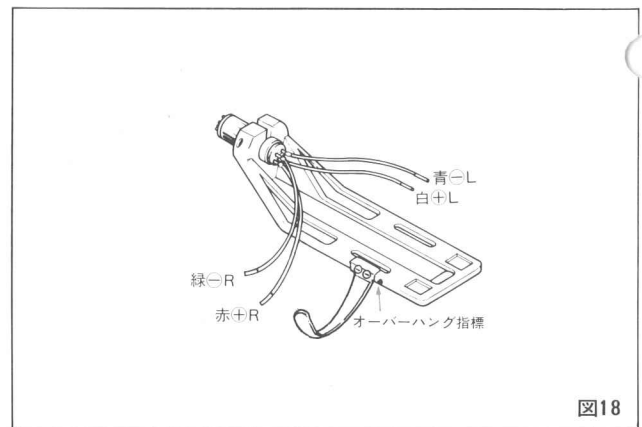


図18

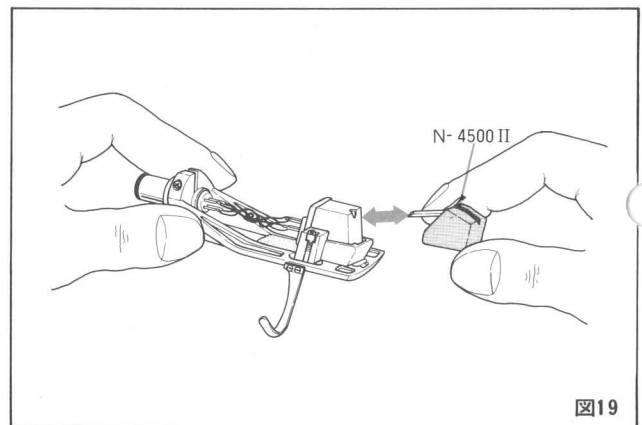


図19

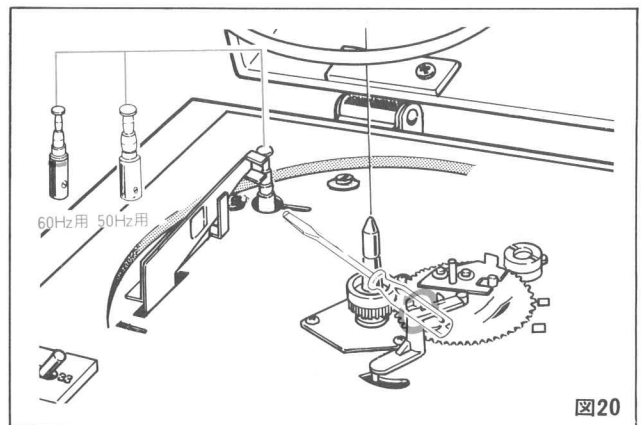


図20



## 故障と思われるときには……………

症 状	原 因	処 置
PLAY REJECT レバーをONにしてもターンテーブルが回転しない	電源コードが電灯線コンセントにしっかり差込まれていない	コンセントにしっかり差込み直す
	ベルトをかけ忘れている	ベルトをモータープリーリーにかける
	ベルトがはずれている	ベルトをターンテーブル、モータープリーリーにかける
	ベルトが切れている	ベルトを交換する
レコード面に針先を降ろしても音が出ない	アンプとの接続が不完全	出力コードの接続を確認する
	交換したカートリッジの寸法が適切でないため、カートリッジの腹がレコード面に当たっている	適切な寸法のカートリッジに付け直す
ターンテーブルの回転が遅かったり、回転ムラ(ワウ・フラッター)が起こる	ターンテーブル外周やモータープリーリー、ベルトなどに油が付着してスリップしている	油などで汚れている部分を無水アルコールなどで、きれいに清掃する
	ベルトが伸びている	ベルトを交換する

スピーカーからモーター音が聞こえる	プレーヤー組立の際に輸送用固定赤ネジ2本を取り除いていない	輸送用固定ネジを取り除く (“組立ての前に”の項参照)
再生音がひずんでいて聴きにくくまたは、“チリチリ”“パチパチ”という音がする、または、特に高音域がひずんで汚ない	プレーヤーが水平でなく傾いている	水平に設置し直す
	針先にホコリなどが付着している	針先掃除ハケできれいにする
	針先が磨耗している	針先を交換する
	レコード自体が傷んでいたり、ホコリやゴミがついている	レコードを新しいものと交換してみる
	針圧が軽すぎるか、重すぎる	使用カートリッジの適正針圧に調整し直す
	接続しているアンプの高音(TREBLE)を上げすぎている	高音(TREBLE)をFLATポジションに戻してみる

レコード演奏のとき、“ブーン”というハム音が入る	プレーヤーのアース線をアンプのアース端子に接続していない	アース線をアース端子に接続する
再生音がふるえたり、ハウリング(“ボウーン”という音)を起して聴きにくい	プレーヤーとスピーカーシステムの設置場所が近すぎたり、不安定で、振動が伝わったり、共振している	しっかりした場所に移したり、スピーカーから遠ざけるなど設置場所を変えてみる
	接続しているアンプの低音(BASS)を上げすぎている (あるいはラウドネスをかけすぎている)	低音(BASS)をFLATポジションに戻してみる (ラウドネスを絞るかOFFにする)
	狭い部屋で極端に再生音を大きくしている	VOLUMEを絞って再生音を小さくする
スピードが切換わらない。	ベルトをベルト切換ガイドに通していない	ベルトをベルト切換ガイドに通す

## サービスのご依頼について

●サービスのご依頼は、お買上げ店、または日本楽器各支店オーディオ技術係へお願い致します。

### ■支店への持込み修理

故障の場合、出張サービスのご依頼をなさらずに、直接ご自分でお買上店又は最寄りのヤマハ各支店へお持ちいただければ、出張料などの経費の点でお得ですし短期間でおなおしすることができます。裏表紙のヤマハ各支店の住所と電話番号をご参照ください。

■保証期間の1カ年を過ぎましても有償にて責任をもってサービスを実施致します。尚補修用性能部品の保有期間は8年となっております。

■万一お買上店でのサービスについてのご不満又は製品の不調や疑問がございましたら、ご面倒ではございますが、下記ヤマハ各支店オーディオ技術係にご連絡くださいますようお願い致します。

### ■各支店住所(オーディオ技術係)

東京支店・〒101 東京都千代田区外神田3-10-12  
TEL (03) 255-2241  
大阪支店・〒542 大阪市南区日本橋1-23(日本一ビル内)  
TEL (06) 643-3874  
名古屋支店・〒460 名古屋市中区錦1-18-28  
TEL (052) 201-5141  
九州支店・〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4  
TEL (092) 472-2151

北海道支店・〒064 札幌市中央区南十条西1丁目(ヤマハセンター内)  
TEL (011) 512-6111  
仙台支店・〒980 仙台市一番町2-6-5  
TEL (0222) 27-8511  
広島支店・〒731-01 広島市祇園町西原862(技術センターニシルク内)  
TEL (08287) 4-3787  
浜松支店・〒430 浜松市鍛冶町122  
TEL (0534) 54-4111

## 日本楽器製造株式会社

本社・工場	〒430・浜松市中沢町10-1 TEL・0534(61)1111	神戸店	〒650・神戸市生田区元町通り2-188 TEL・078(321)1191
東京支店	〒104・東京都中央区銀座7-9-18/パールビル内 TEL・03(572)3111	四国店	〒760・高松市丸亀町8-7 TEL・0878(51)7777
銀座店	〒104・東京都中央区銀座7-9-14 TEL・03(572)3111	名古屋支店	〒460・名古屋市中区錦1-18-28 TEL・052(201)5141
渋谷店	〒150・東京都渋谷区道玄坂2-10-7 TEL・03(463)4221	九州支店	〒812・福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL・092(472)2151
池袋店	〒171・東京都豊島区南池袋1-24-2 TEL・03(981)5271	福岡店	〒810・福岡市中央区天神1-11/福岡ビル内 TEL・092(721)7621
横浜店	〒220・横浜市西区南幸2-15-13 TEL・045(311)1201	小倉店	〒802・北九州市小倉区魚町1-1-1 TEL・093(531)4331
ジョイナス ヤマハ店	〒220・横浜市西区南幸1-5-1 TEL・045(311)6361~4	北海道支店	〒064・札幌市中央区南十条西1丁目/ヤマハセンター TEL・011(512)6111
千葉店	〒280・千葉市中央4-2-1/まつだやビル内 TEL・0472(24)6111	仙台支店	〒980・仙台市1番町2-6-5 TEL・0222(27)8511
大阪支店	〒564・吹田市新芦屋下1-16 TEL・06(877)5151	広島支店	〒730・広島市紙屋町1-1-18 TEL・0822(48)4511
心齋橋店	〒542・大阪市南区心齋橋筋2-39 TEL・06(211)8331	浜松支店	〒430・浜松市鍛冶町122 TEL・0534(54)4111
梅田店	〒530・大阪市北区梅田町1/阪神百貨店5階 TEL・06(345)4731	海外支店	ロスアンゼルス・メキシコ・ハンブルグ・ シンガポール・フィリピン